

1QはCOVID-19関連需要の反動減が影響、通期は積極的な投資負担続く中、高水準な収益が見込めよう

決算サマリー

アクリートは、5月12日（金）の引け後に、23/12期1Q決算を発表した。連結ベースの主要数値は、売上高14億54百万円(前年同期比16.2%増)、営業利益1億87百万円(同42.9%減)、経常利益1億80百万円(同45.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益(以下、当期利益)1億16百万円(同48.4%減)。

FY23/12期1Q決算概要

前年比2桁増収に最も大きく貢献したのが、ベトナムでSMS配信サービスを展開するVietGuys J. S. C.(以下、VGS社)が FY22/12期2Qより連結子会社になったことである。FY22/12期1Q時点では同社の連結オペレーションには現在の海外メッセージングサービス事業はなかった。VGS社が連結化されたことで、コロナ陽性者への連絡手段で一時的にSMS配信サービス利用が大きく増加した特殊要因が減少し、その反動減による単体ベースの減収がオフセットされた。事業別の概況は以下の通り。

国内メッセージングサービス事業のセグメント売上高は10億61百万円、セグメント営業利益は1億80百万円であった。SMS配信サービスは自治体等の新型コロナウイルス感染者との連絡手段の利用数が減少したが、国内SMSの市場拡大により、取引先及び配信数は順調に推移した。メール配信サービスでは公的な団体や施設で「学校安心メール」や「自治体安心メール」等、利用者とのスムーズな連絡を行う手段として需要が伸びた。海外メッセージングサービス事業のセグメント売上高は3億94百万円、セグメント営業利益は8百万円であった。VGS社ではメッセージングサービスのオムニチャンネル化を推進しており収益性の高いサービスへのシフトに注力している。

FY23/12通期会社予想

Q1決算発表時点において、2月14日に発表があったFY23/12通期会社業績予想には変更はない。VGS社は通期で連結業績への貢献が見込める。一方、配信数増加に伴うインフラ整備、新規顧客獲得のための販促活動、R&D費の増加、積極的な人材採用等からコストが大幅に増加傾向にあるが、積極的な投資負担をこなし高水準な収益が期待出来る。SIRは取材を経てフォローアップレポートを発行する予定。

決算期	売上高 (百万円)	前年比 (%)	営業利益 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	当期利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS ⁽²⁾ (円)	DPS (円)
FY18/12 単	1,291	36.0	246	43.6	222	30.0	152	35.5	28.2	0.0
FY19/12 単	1,413	9.5	254	3.2	249	11.7	170	12.0	29.7	0.0
FY20/12 単	1,732	22.5	344	35.6	345	38.6	241	41.2	41.5	10.0
FY21/12 連 ⁽¹⁾	2,833	-	465	-	461	-	300	-	52.0	10.0
FY22/12 連	6,190	118.5	1,172	150.4	1,176	153.7	851	177.4	144.2	10.0
FY23/12 連(会予)	7,784	25.7	1,168	-0.4	1,160	-1.4	735	-13.7	126.5	10.0
四半期										
FY22/12 1Q 連 ⁽¹⁾	1,251	-	328	-	329	-	226	-	38.0	-
FY23/12 1Q 連	1,454	16.2	187	-42.9	180	-45.3	116	-48.4	20.4	-

出所：同社決算短信よりSIR作成

注(1): 21/12期3Qより連結財務諸表を作成していることから、対前年同期比増減率は記載していない。

注(2): 潜在株式調整後株式で計算したEPSを表記している。

1Q Flash



中嶋俊彦

シニアアナリスト

research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームをご覧ください。

LEGAL DISCLAIMER

ディスクレマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や情報は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp